

都市再生整備計画

舞鶴公園・南公園周辺地区の 事後評価について

令和 5 年 11 月
福岡市

1. 都市再生整備計画事業について
2. 「舞鶴公園・南公園周辺地区」の概要
3. 目標の達成に向けた整備状況
4. 成果指標の達成状況

1. 都市再生整備計画事業について

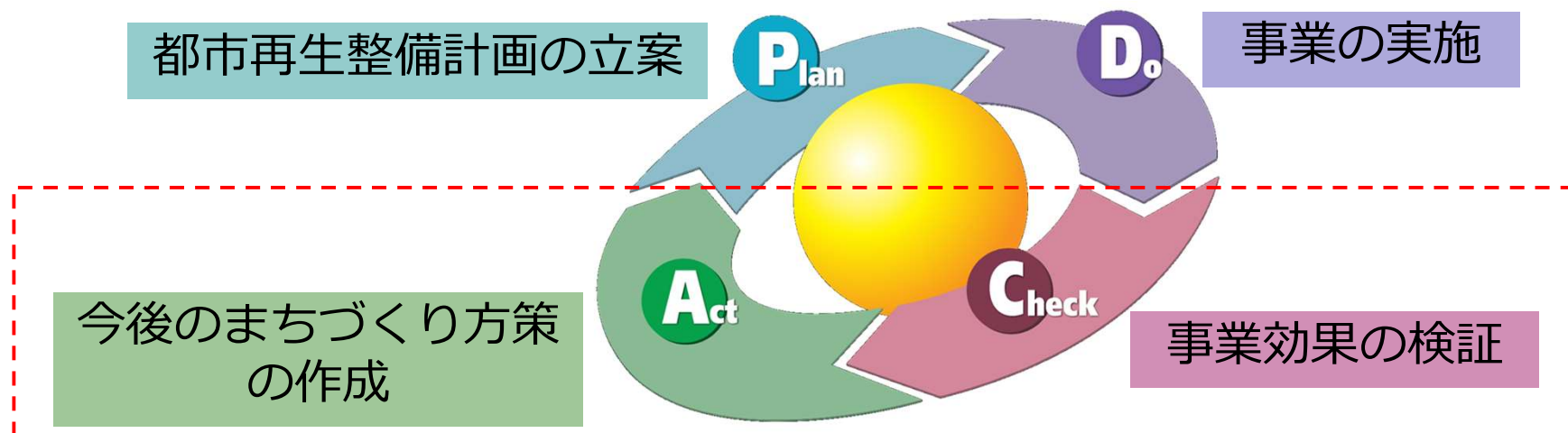
1-1. 都市再生整備計画事業とは

○目的

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することで、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図る。

○事業の特徴

- ・市町村主導で3～5年の整備計画を策定（市町村の主体的な取組）
- ・整備計画や事業成果を広く一般に公開（わかりやすさと透明性の確保）
- ・事業の評価、改善を図る仕組みの確立（PDCAサイクル）



1. 都市再生整備計画事業について

1-1. 都市再生整備計画事業とは

都市再生整備計画事業で実現できる個性あふれるまちづくり

にぎわいと活力のあるまちづくり

目標例：中心市街地におけるにぎわい再生
 指標例：地区への来街者数[人/年]、新店舗設立数[件]、従業者数[人] 等

事業例

- モール化
(歩行者ネットワーク軸)の整備
- 多目的広場の整備
- にぎわい創出イベントの支援 等



活力と魅力にあふれ、暮らす人にも訪れる人にも 快適なまちづくりを応援します。

都市再生整備計画事業では、市町村が目標や指標について自由に設定し、
 目標達成のために各種事業を実施することができます。

〈まちづくりのイメージ〉



観光資源を活かしたまちづくり

目標例：観光、交流、地域連携による地域づくり
 指標例：宿泊者数[人/年]、地域来訪者[人/年] 等

事業例

- 観光交流センターの整備
- 観光ボランティアガイドの充実支援 等



公共交通を活かしたまちづくり

目標例：交通網、交通結節点の整備改善による利便性の向上
 指標例：交通混雑度、乗換所要時間[分] 等

事業例

- 街路事業・道路事業
- 駅前広場・歩行者デッキ・自由通路の整備
- パークアンドライド駐車場の整備 等



少子・高齢化に対応したまちづくり

目標例：誰もが安心・快適に暮らせる生活環境の創出
 指標例：満足度[%]、バリアフリー化率[%] 等

事業例

- 子育て世代活動支援センターの整備
- 歩行空間のバリアフリー化
- 地域優良賃貸住宅の整備 等



安全・安心のまちづくり

目標例：地域の防災性・安全性の向上
 指標例：耐震化率[%] 等

事業例

- 防災広場の整備
- 避難路の整備
- 防災マップ作成等の防災活動の支援
- 防犯灯の整備 等



環境に配慮したまちづくり

目標例：水、緑の活用による環境負荷の低減
 指標例：緑被率[%] 等

事業例

- 公園の整備
- 下水道の整備
- 市民花壇等による歩道修景 等



歴史・文化を活かしたまちづくり

目標例：歴史・文化資源の保全・活用による魅力の向上
 指標例：地区への来街者数[人/年] 等

事業例

- 歴史的景観の整備
- 歴史的建造物を活用した各種交流施設整備
- 電線類の地中化 等



アメニティ向上を目指したまちづくり

目標例：自然環境や地域資源を活かした魅力の向上
 指標例：住民満足度[%] 等

事業例

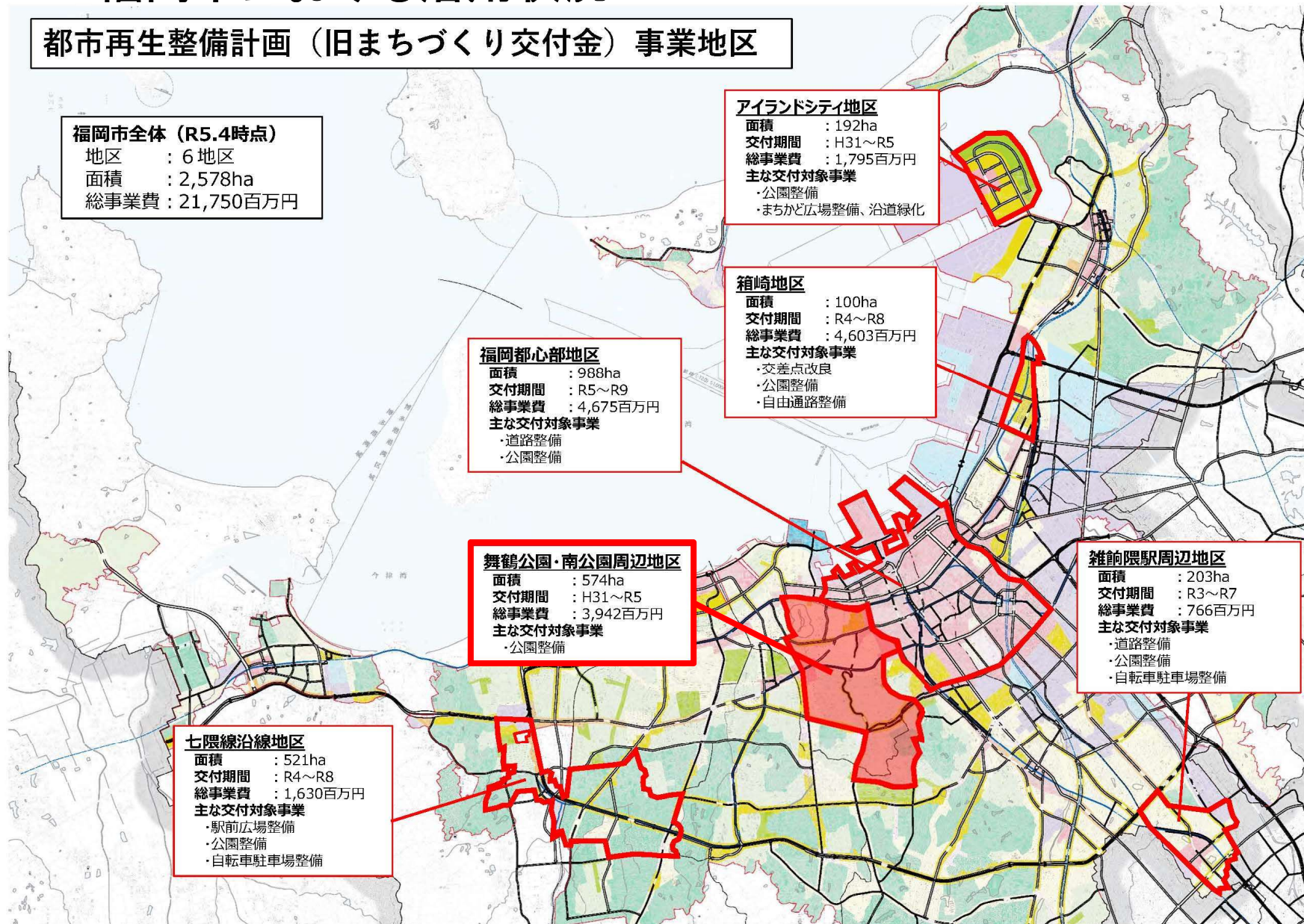
- 道路の高質化
- 休憩施設の整備
- せせらぎ整備 等



1. 都市再生整備計画事業について

1-2. 福岡市における活用状況

都市再生整備計画（旧まちづくり交付金）事業地区



2. 「舞鶴公園・南公園周辺地区」の概要

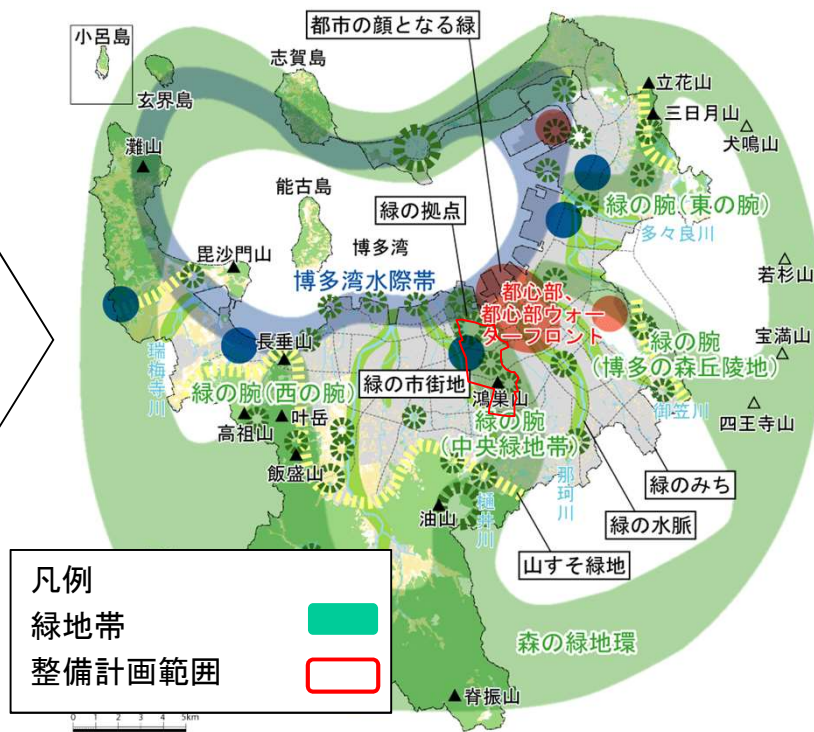
2-1. 目標と整備方針

＜都市再生整備計画の上位計画＞



第9次福岡市基本計画「都市空間構想図」

都市の中の貴重な緑を活用し、
レクリエーションやスポーツなどを通じて
市民や来街者が集い憩える空間



福岡市 新・緑の基本計画

市街地の生活環境や生物の生息・生育環境、
美しい都市の景観形成の軸

**都市の貴重な緑を保全しながら、活用するために、
市民や来街者が安全・安心して集い、憩えるようなまちづくりを行う**

2. 「舞鶴公園・南公園周辺地区」の概要

2-1. 目標と整備方針

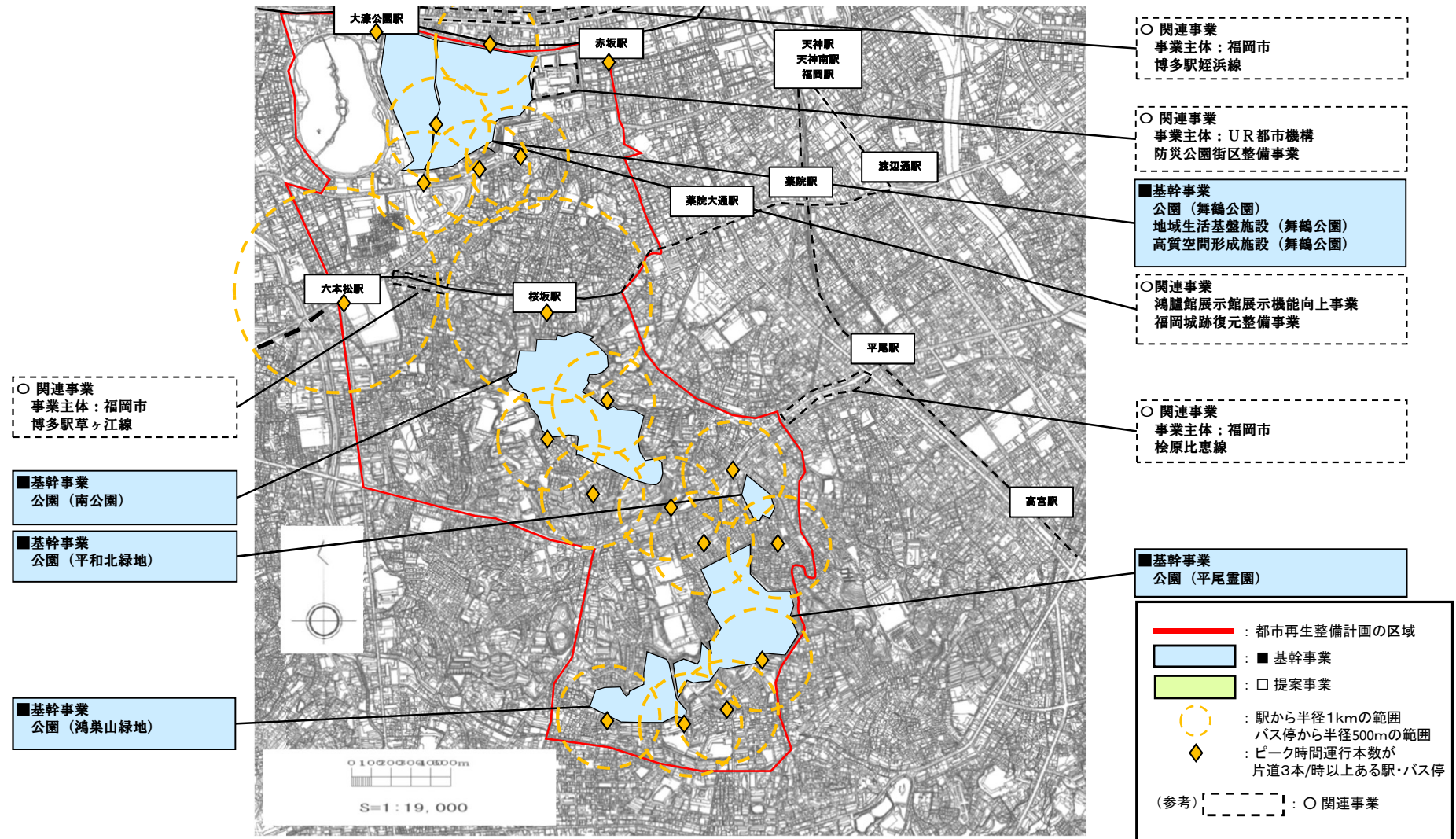
目標	整備方針
目標1 市民の憩いと集客の拠点づくり	整備方針 <ul style="list-style-type: none">●舞鶴公園における年間集客力および回遊性の向上、南公園における魅力的な施設整備●観光資源の整備●観光客等集客に資する賑わいの場づくり●更なる公園の利活用推進 等
目標2 安全安心して暮らせるまちづくりの推進	整備方針 <ul style="list-style-type: none">●舞鶴公園、南公園、平尾霊園における防災機能向上のための園路整備●観光案内版の整備(避難路の機能向上)●裁判所跡地の公園整備●道路整備やバリアフリー歩道整備 等
目標3 身近な生活に潤いをもたらすまちづくりの推進	整備方針 <ul style="list-style-type: none">●地域ニーズに対応した公園整備●更なる利活用ニーズがある緑地の新たな公園整備 等

2. 「舞鶴公園・南公園周辺地区」の概要

2-2. 整備方針概要図<最終計画(R5.6)>

基幹事業：7件

関連事業：6件

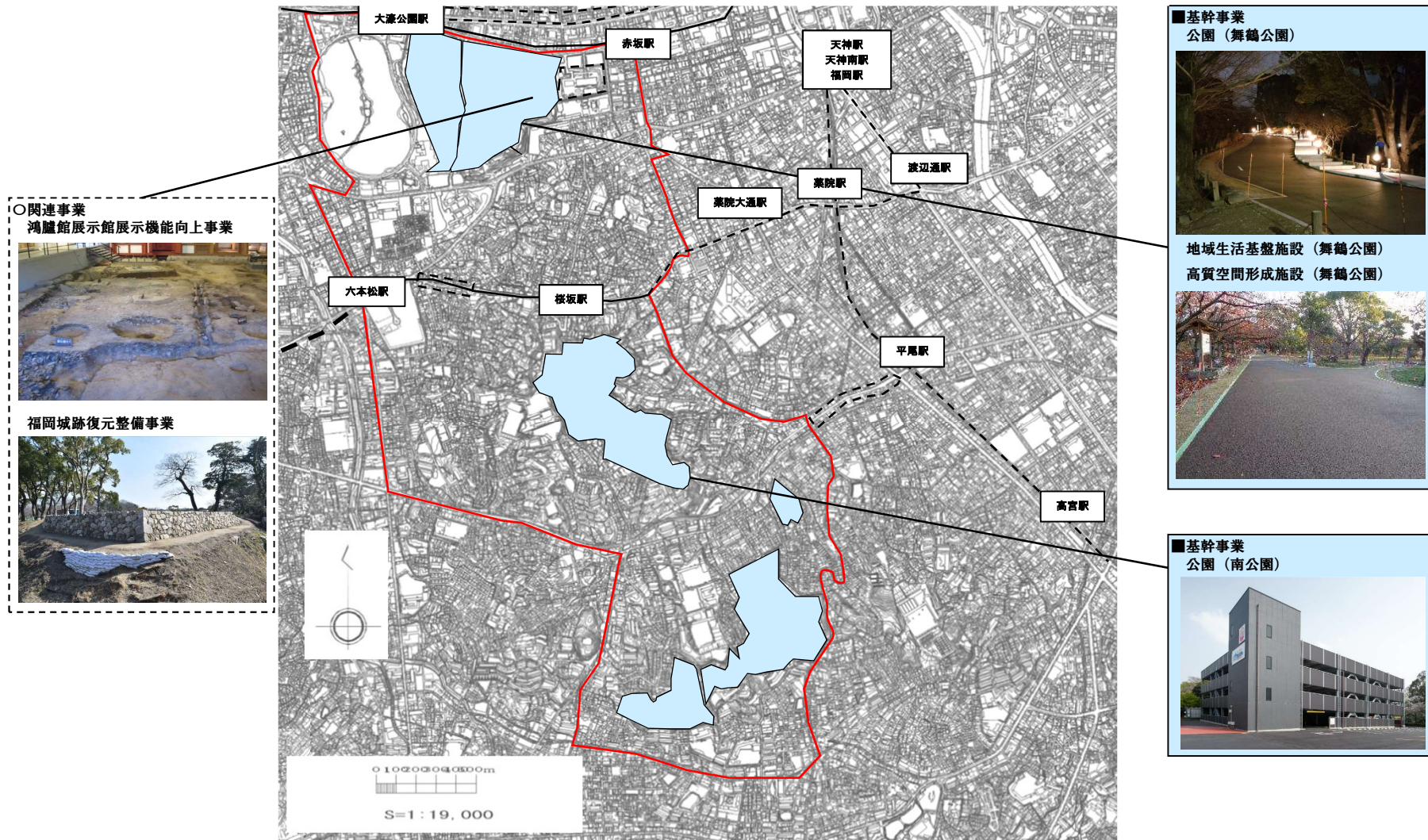


2. 「舞鶴公園・南公園周辺地区」の概要

2-3. 目標と事業(1)

目標1: 市民の憩いと集客の拠点づくり

基幹事業: 4件 関連事業: 2件



2. 「舞鶴公園・南公園周辺地区」の概要

2-3. 目標と事業(2)

目標2:安全安心して暮らせるまちづくりの推進

基幹事業:6件 関連事業:4件

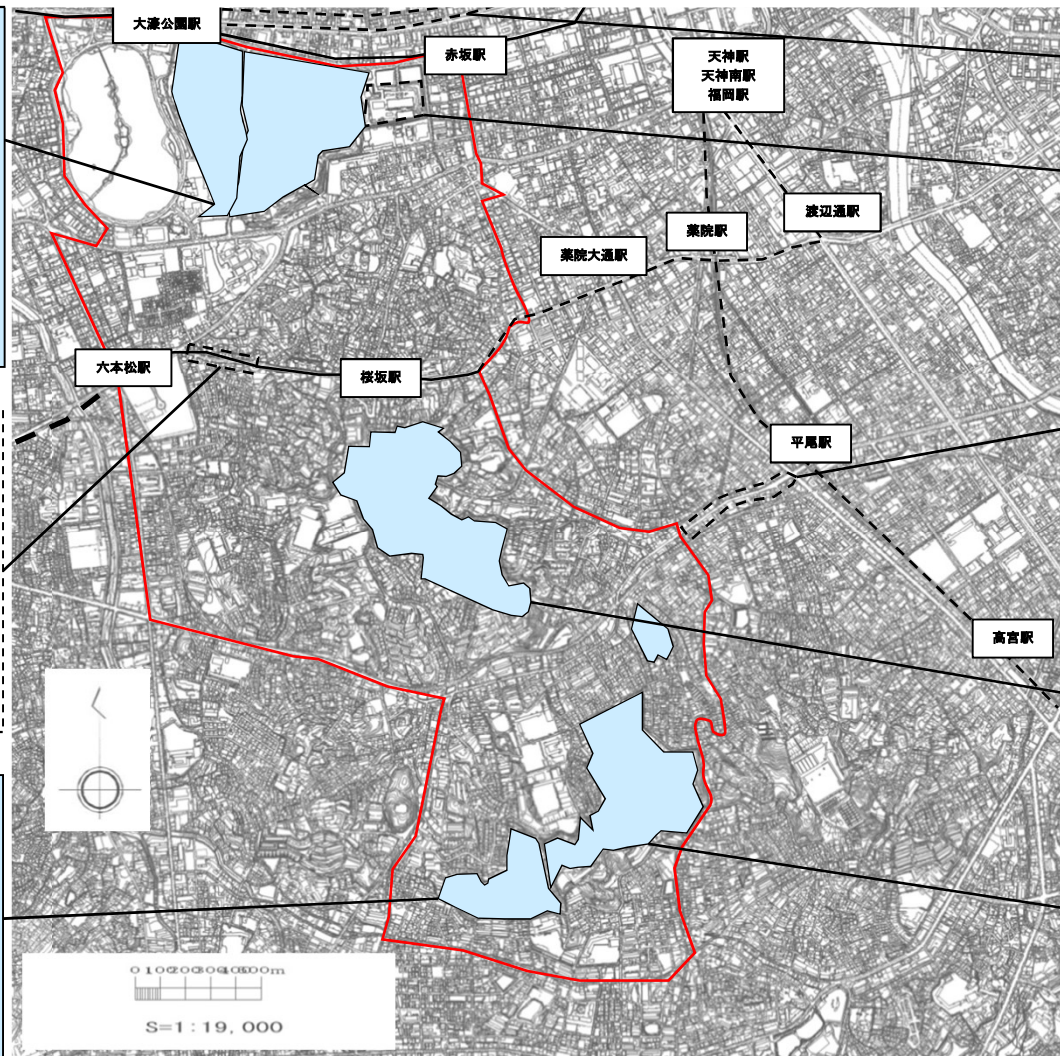
■基幹事業
公園(舞鶴公園)
地域生活基盤施設(舞鶴公園)
高質空間形成施設(舞鶴公園)



○関連事業
事業主体:福岡市
博多駅草ヶ江線



■基幹事業
公園(鴻巣山緑地)



○関連事業
事業主体:福岡市
博多駅姪浜線

○関連事業
事業主体:UR都市機構
防災公園街区整備事業

○関連事業
事業主体:福岡市
桧原比恵線



■基幹事業
公園(南公園)

■基幹事業
公園(平尾霊園)

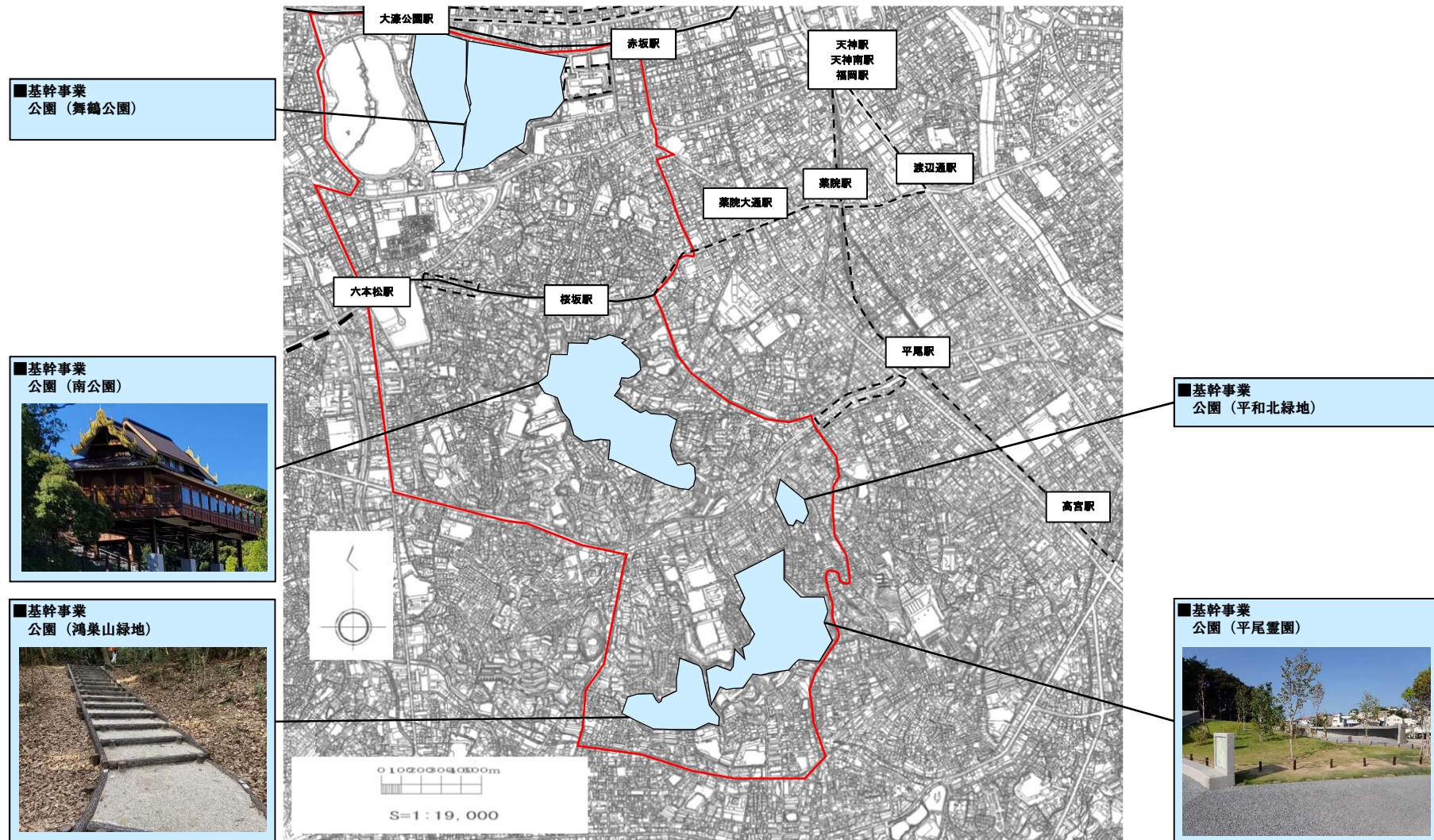


2. 「舞鶴公園・南公園周辺地区」の概要

2-3. 目標と事業(3)

目標3: 身近な生活に潤いをもたらすまちづくりの推進

基幹事業: 5件



3. 目標の達成に向けた整備状況

基幹事業(公園)

3-1-1. 舞鶴公園

目標1
市民の憩いと集客の
拠点づくり

目標2
安全安心して暮らせる
まちづくりの推進

目標3
身近な生活に潤いをもたらす
まちづくりの推進

本事業で実施した主な整備

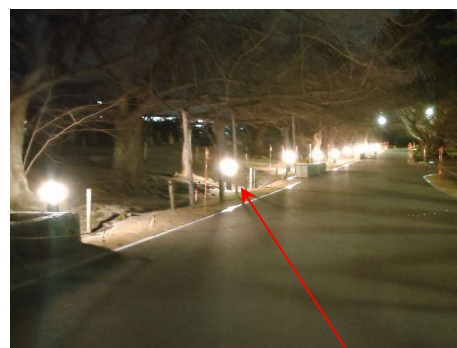
広場等



デザインの統一や回遊動線等への新規設置



本丸周辺



照明灯



天守台周辺



整備前



整備後

年間を通じた集客力の向上を図るため、休憩施設(ベンチ)や照明灯等の整備を行った。

3. 目標の達成に向けた整備状況

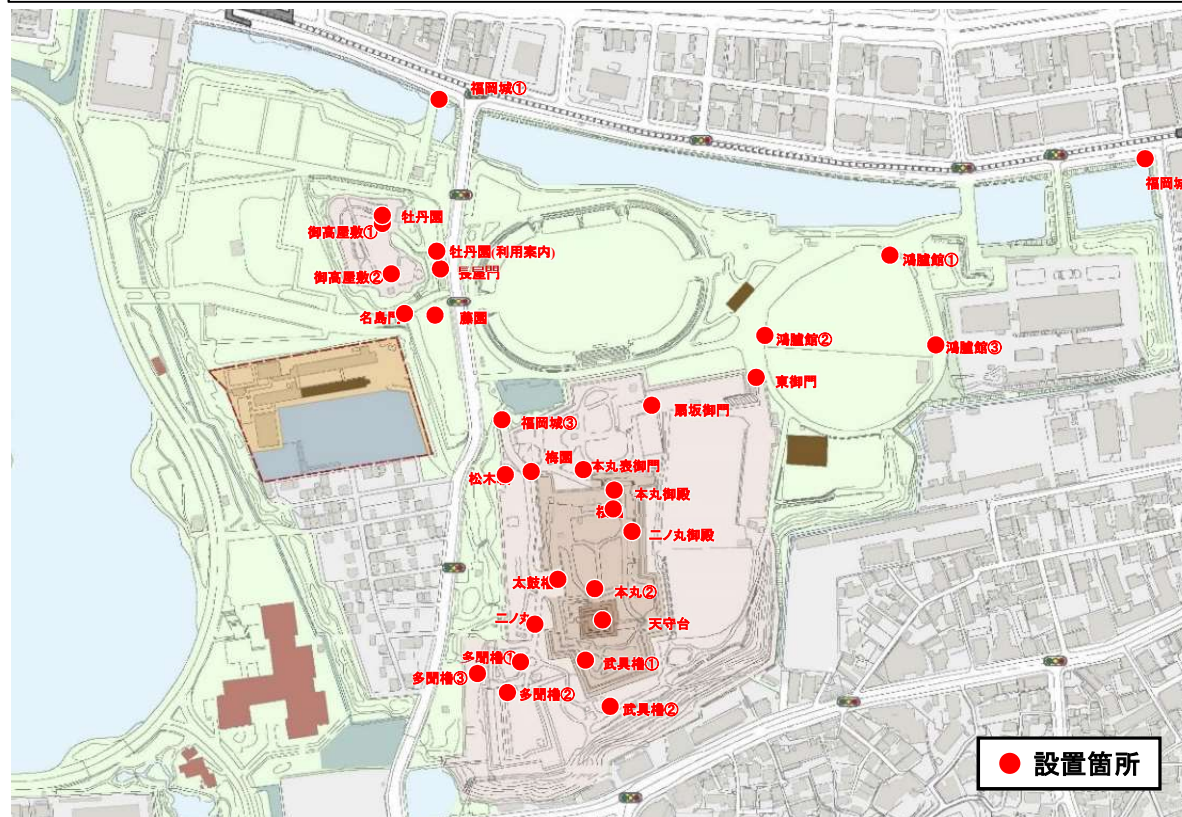
基幹事業(地域生活基盤施設)

3-1-2. 舞鶴公園

目標1
市民の憩いと集客の
拠点づくり

目標2
安全安心して暮らせる
まちづくりの推進

本事業で実施した主な整備



てんしゅだい
天守台
Base of Castle Keep
天守台 けんすだい

ここから眺める高さは標高 36m で、西側に広がる大濠公園を眼下にして、福岡タワーも望むことができます。近年、龍川家の古文書から「福岡城の天守閣は一期存在していたが取り壊された」という記が出ましたが、龍田家の古文書の中には天守閣の存在を肯定する資料が残っており、天守閣の存在は今も謎のままです。

福岡城の天守台は、標高 36 米、約 16 万平方メートルの敷地に、この天守台は「天守」の遺構と見られる。近年、龍川家の古文書から「福岡城の天守閣は一期存在していたが取り壊された」という記が出ましたが、龍田家の古文書の中には天守閣の存在を肯定する資料が残っており、天守閣の存在は今も謎のままです。

城内東側 (CG)
Fukuoka Castle (CG)
標高 36 米 (CG)
面積 16 万平方メートル (CG)

【福岡城物語 07】
しかし、関ヶ原の合戦はわずか一日で家康の任務で終わり、官兵衛の野望は消え去ります。しかも城内に、家康大勝利の影には、長政の活躍がありました。長政は、西軍の諸大名の腰振り交番を成立させて敵将を次々に取り込み、東軍を勝利に導いたのです。

福岡城の見どころを通る
回遊モデルコース
ここは「天守台 07」です
次は「武器庫 08」へ。

QRコードから各種情報をご覧いただけます

お出かけ 福岡市の文化財 大濠公園 4P 舞鶴公園 4P VRアプリ (3.19.19.23-07.2)

年間を通じた集客力の向上や回遊性の向上を図るため、園内の主たる見所に解説サインを設置した。13

3. 目標の達成に向けた整備状況

基幹事業(高質空間形成施設)

3-1-3. 舞鶴公園

目標1
市民の憩いと集客の
拠点づくり

目標2
安全安心して暮らせる
まちづくりの推進

本事業で実施した主な整備

本丸周辺

裏御門周辺



防災機能の向上を図るため、未整備園路の整備を行うとともに、年間を通じた集客力の向上を図るため、鴻臚館等の歴史遺産の雰囲気にも合うよう、園路の高質化を実施した。

3. 目標の達成に向けた整備状況

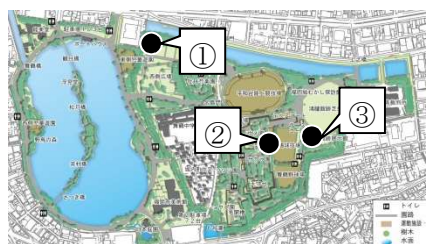
関連事業

3-1-4. 舞鶴公園

目標1
市民の憩いと集客の
拠点づくり

目標2
安全安心して暮らせる
まちづくりの推進

本事業で実施した主な整備



①潮見櫓石垣



②祈念櫓石垣



③鴻臚館跡展示館



(その他)

防災公園街区整備事業にて、
裁判所跡地に駐車場・テニ
スコートを整備

福岡城跡復元整備事業

展示機能向上事業

3. 目標の達成に向けた整備状況

基幹事業(公園)

3-2. 南公園(動植物園)

目標1
市民の憩いと集客の
拠点づくり

目標2
安全安心して暮らせる
まちづくりの推進

目標3
身近な生活に潤いをもたらす
まちづくりの推進

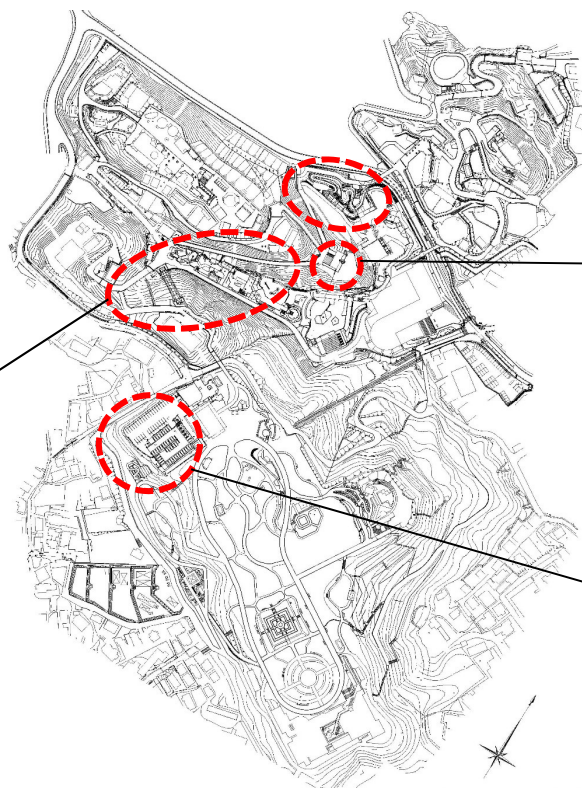
本事業で実施した主な整備

園路

転落防止柵・手すり設置



路面・拡幅整備



休憩所



植物園立体駐車場

※駐車場台数 130台→240台



防災機能の向上を図り、市民に親しまれる公園とするための園路整備を行うとともに、来街者を呼び込む魅力の向上のため、休憩所の新設等を行った。

3. 目標の達成に向けた整備状況

基幹事業(公園)

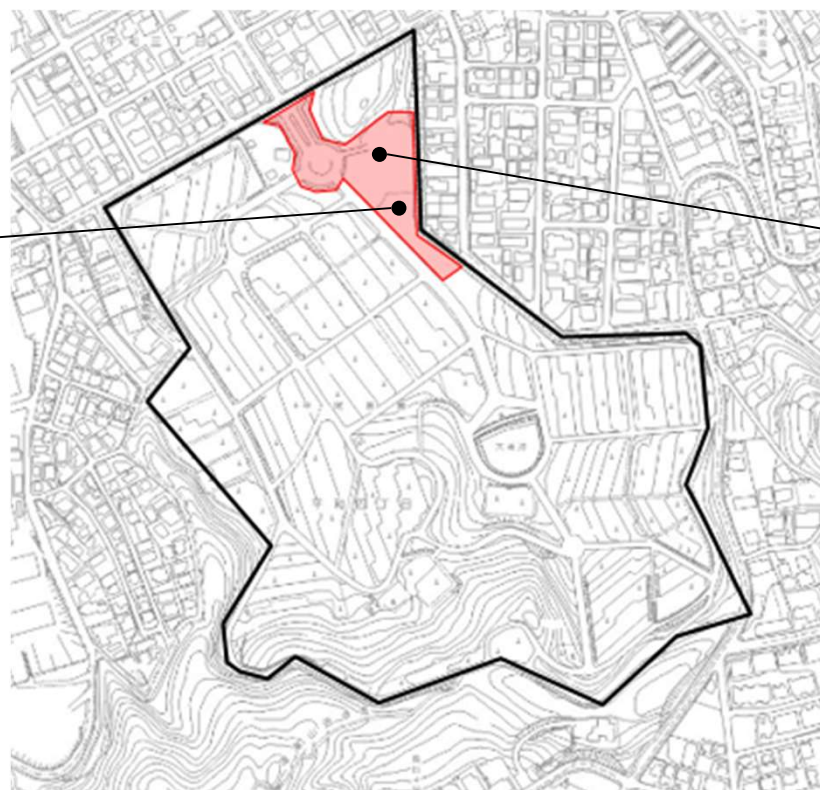
3-3. 平尾霊園

目標2
安全安心して暮らせる
まちづくりの推進

目標3
身近な生活に潤いをもたらす
まちづくりの推進

本事業で実施した主な整備

遊具広場整備



園路広場・外構整備



地区避難場所でもある平尾霊園の防災機能の向上を図るため、園路や広場等の整備を行うとともに、市民に親しまれる公園とするため、遊具広場整備等を行った。

3. 目標の達成に向けた整備状況

基幹事業(公園)

3-4. 鴻巣山緑地

目標2
安全安心して暮らせる
まちづくりの推進

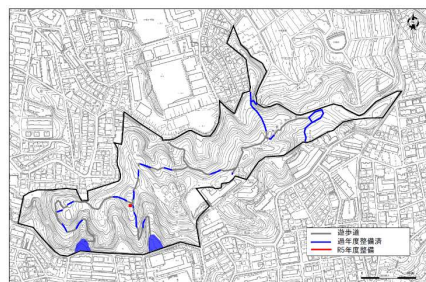
目標3
身近な生活に潤いをもたらす
まちづくりの推進

本事業で実施した主な整備

園路

休憩施設(ベンチ)

散策路入口



地図案内サイン

里山保全活動や森遊び活動、園内散策等により、多くの利用者の憩いの場となっており、地域ニーズに応じて園路や休憩施設等の整備を行うことで、更なる利活用の推進を図った。

3. 目標の達成に向けた整備状況

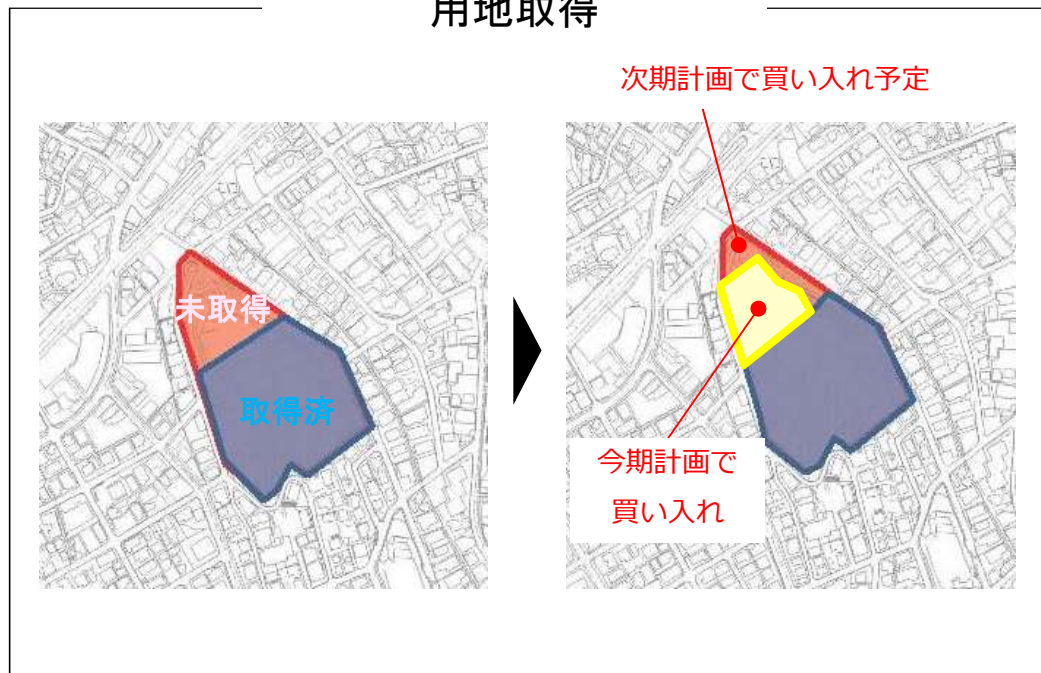
基幹事業(公園)

3-5. 平和北緑地

目標3
身近な生活に潤いをもたらす
まちづくりの推進

本事業で実施した主な整備

用地取得



将来的な活用イメージ



(参考) 鴻巣山緑地での森のワークショップの様子



森づくり団体による森遊びイベント等により、地域活動の拠点となっており、地域ニーズに応じた緑地の拡張整備のための用地取得を進めることで、更なる利活用の推進を図った。

4. 成果指標の達成状況

4-1. 目標と指標の関係

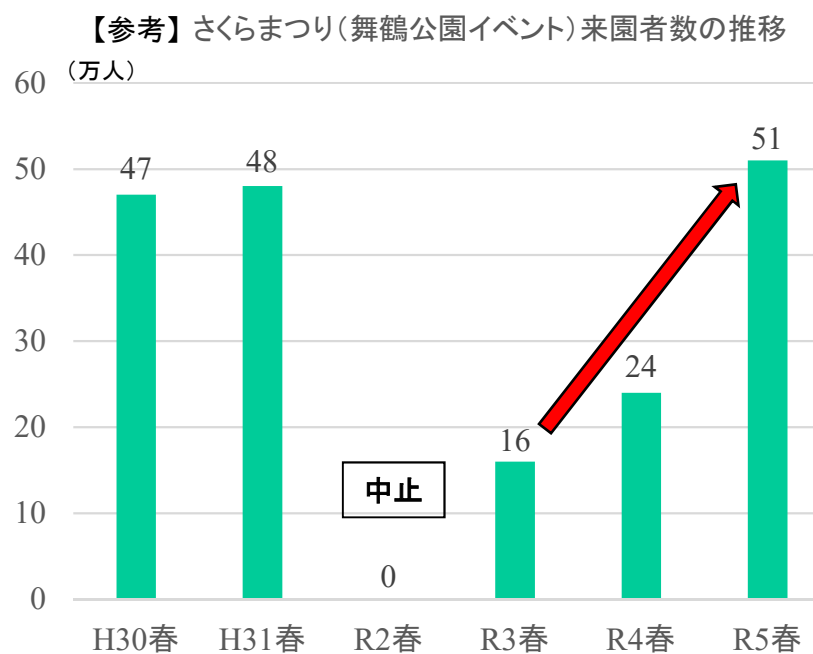
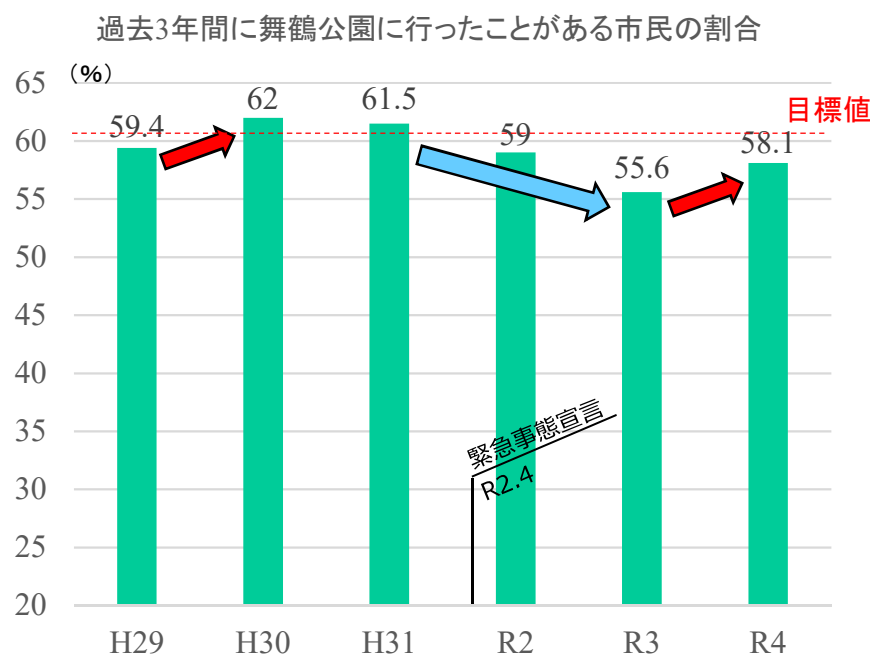
目標	目標を定量化する指標	
目標1 市民の憩いと集客の拠点づくり	指標1	舞鶴公園利用者の割合 過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合
目標2 安全安心して暮らせるまちづくりの推進	指標2	動植物園の利用者数 地区内の施設(動植物園)利用者数
目標3 身近な生活に潤いをもたらすまちづくりの推進	指標3	安全・安心のための社会環境整備ができていると感じる市民割合 福岡市中央区で安全・安心のための社会環境整備ができていると感じる市民の割合 (参考)福岡市中央区で地域の公園の道具や設備の安全性に不安はないと感じている市民の割合
	指標4	緑が豊かであると感じている市民の割合 福岡市中央区で身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合 (参考)福岡市中央区で身近な公園の緑が豊かであると感じている市民の割合

4. 成果指標の達成状況

4-2. 指標1: 舞鶴公園利用者の割合

定量的指標の現況値及び目標値				
成果指標	算定根拠	従前値	目標値	実績値
		H29年度（基準）	R5年度末	R4年度末
過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	59.4%	60.8%	58.1%

新型コロナウイルス感染症の流行による、外出制限やイベントの中止などが原因で「過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合」は減少していると考えられるが、感染症流行以前のH30～H31年度では目標値を達成していることなどから、行動制限の緩和によりさらなる増加が見込まれる。

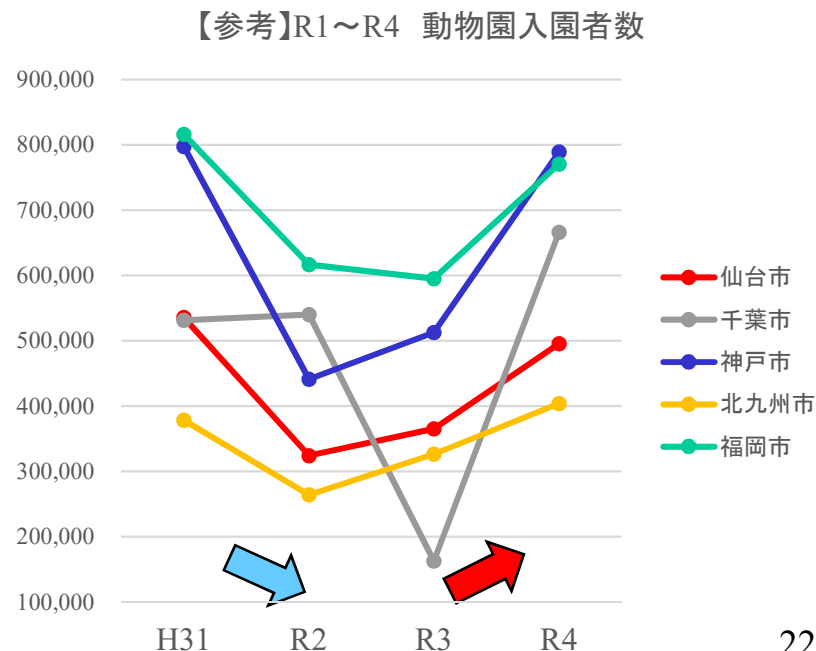
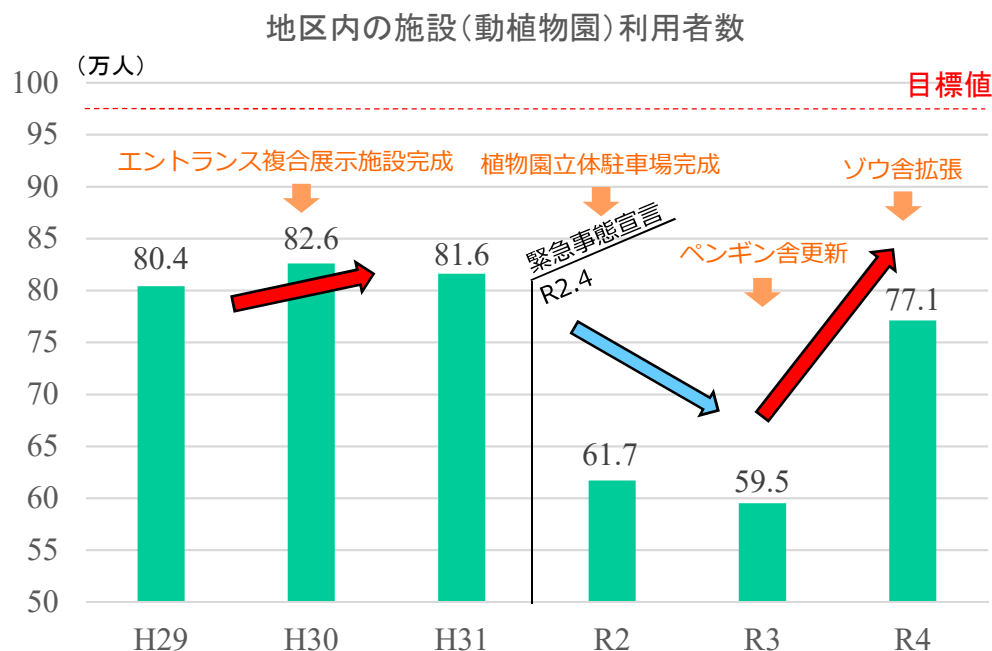


4. 成果指標の達成状況

4-3. 指標2 : 動植物園の利用者数

定量的指標の現況値及び目標値				
成果指標	算定根拠	従前値	目標値	実績値
		H29年度（基準）	R5年度末	R4年度末
地区内の施設（動植物園）利用者数	福岡市動植物園入園者数	80.4万人/年	97.1万人/年	77.1万人/年

新型コロナウイルス感染症の流行による、外出制限やイベントの中止などが原因で「地区内の施設（動植物園）利用者数」は減少していると考えられるが、動植物園の施設更新や展示内容の充実（ペンギン舎更新）や、行動制限の緩和により、増加していくことが見込まれる。

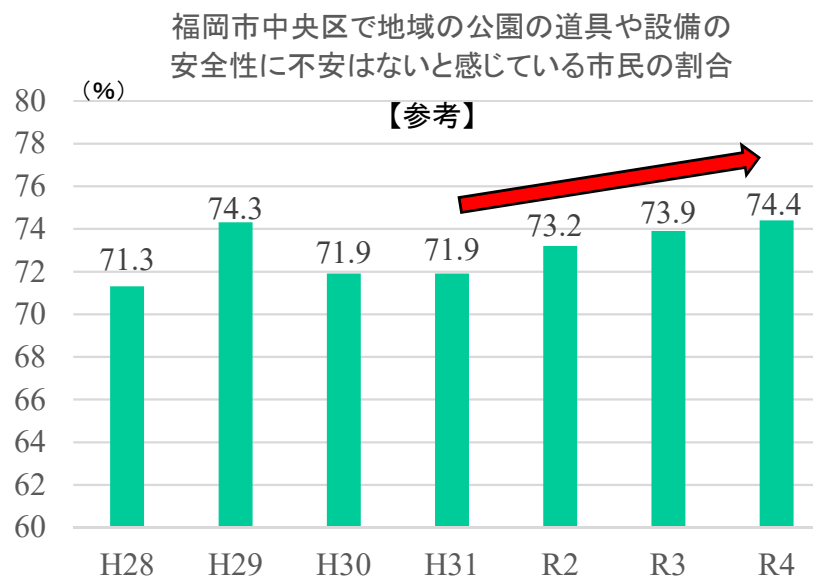
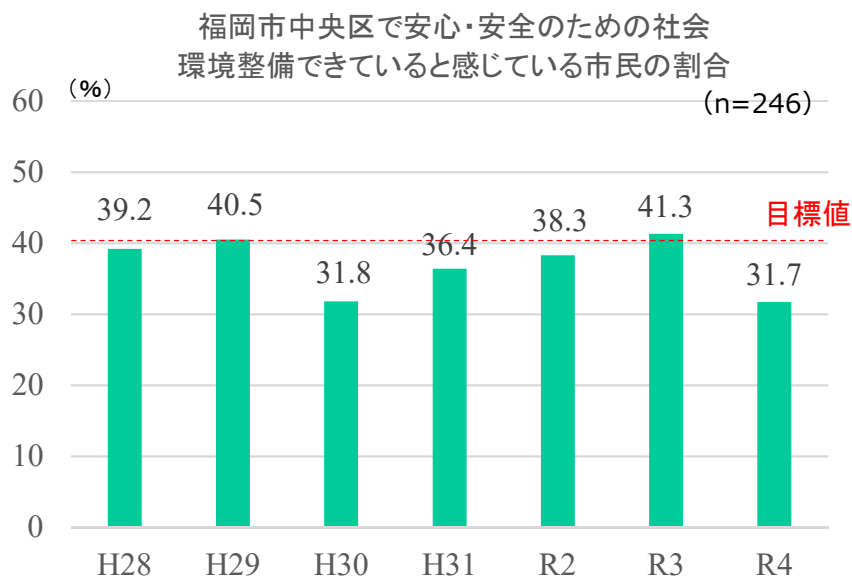


4. 成果指標の達成状況

4-4. 指標3:安全・安心のための社会環境整備ができていると感じる市民割合

定量的指標の現況値及び目標値				
成果指標	算定根拠	当初現況値	目標値	実績値
		H28年度（基準）	R5年度末	R4年度末 (n=246)
福岡市中央区で安全・安心のための社会環境整備ができていると感じる市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	39.2%	40.1%	31.7%
参考 福岡市中央区で地域の公園の道具や設備の安全性に不安はないと感じている市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	71.3%	-	74.4%

「福岡市中央区で安全・安心のための社会環境整備ができていると感じる市民の割合」については約30～40%で推移している（H29年度とR3年度では目標値を達成）。一方で、「福岡市中央区で地域の公園の道具や設備の安全性に不安はないと感じている市民の割合」はH31年度以降、着実に増加しており、公園整備による一定の成果が出ていると考えられる。今後は引き続き公園整備に取り組むとともに、道路や公共施設等の整備も進めていく必要がある。



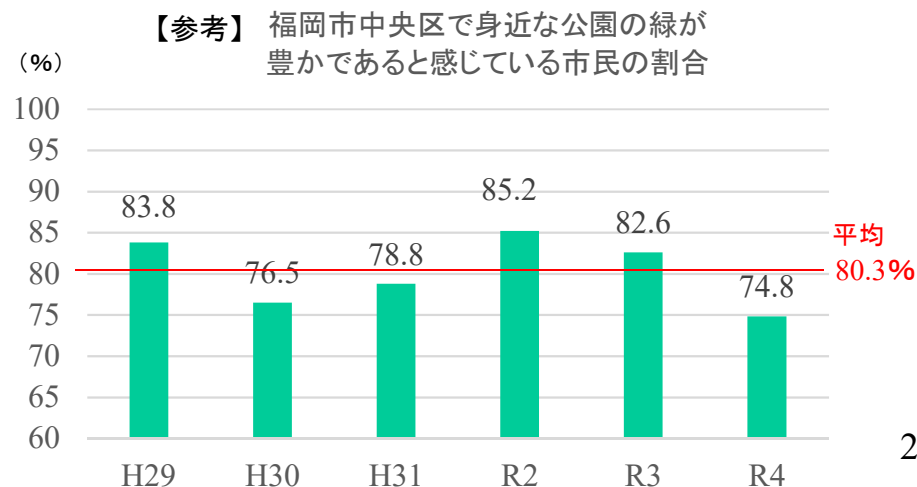
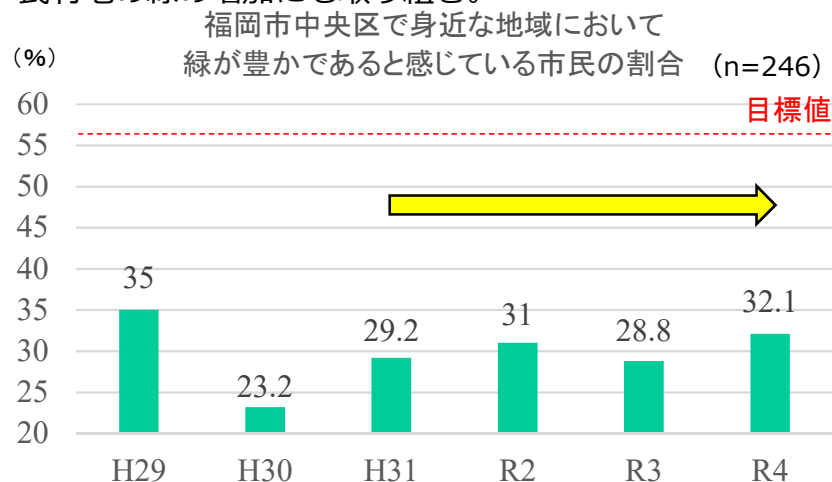
4. 成果指標の達成状況

4-5. 指標4: 緑が豊かであると感じている市民の割合

定量的指標の現況値及び目標値				
成果指標	算定根拠	当初現況値	目標値	実績値
		H29年度（基準）	R5年度末	R4年度末 (n=246)
福岡市中央区で身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	35.0%	58.3%	32.1%
参考 福岡市中央区で身近な公園の緑が豊かであると感じている市民の割合	福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査による	83.8%	-	74.8%

「福岡市中央区で身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合」について、ほぼ横ばいで推移している。これは、中央区の緑被率がH29、R4共に20.3%であったことから、緑を保全できているものの、増加していないことが一因であると考えられる。一方で、「福岡市中央区で身近な公園の緑が豊かであると感じている市民の割合」はH29年度以降、平均して80.3%の市民から評価されており、公園整備による一定の成果が出ているものと考えられる。

今後は引き続き公園整備に取り組むとともに、令和4年度から開始した「都心の森1万本プロジェクト」を推進し、民有地の緑の増加にも取り組む。



4. 成果指標の達成状況

4-6. 成果指標の達成状況一覧

定量的指標の現況値及び目標値					
成果指標	単位	当初現況値		目標値 (R5年度末)	実績値 (R4年度末)
			基準年度		
指標1 舞鶴公園利用者の割合	%	59.4	H29	60.8	58.1
指標2 動植物園の利用者数	万人/年	80.4	H29	97.1	77.1
指標3 安全・安心のための社会環境整備ができていると感じる市民割合	%	39.2	H28	40.1	31.7
指標4 緑が豊かであると感じている市民の割合	%	35.0	H29	58.3	32.1

指標1
指標2 年度によっては新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、目標を達成することができなかったが、近年では指標の数値が上向きであり、整備による一定の成果がみられることから、引き続き次期計画においても環境整備やイベント等の効果促進事業を推進していく。

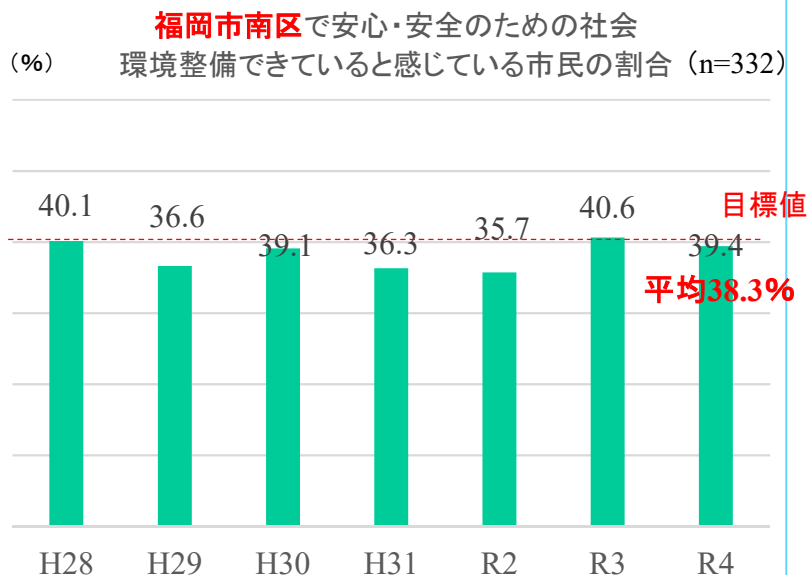
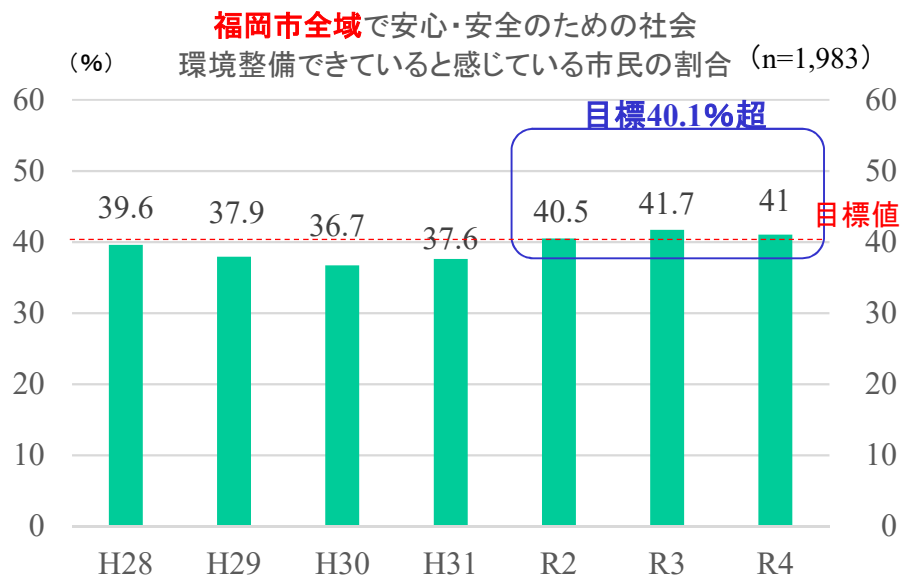
指標3 本計画の中で整備を進めているものの、指標の数値は約30~40%（H28年度とR3年度では目標値を達成）で推移しており、目標値の維持ができていないが、「福岡市中央区で地域の公園の道具や設備の安全性に不安はないと感じている市民の割合」はH31年度以降、着実に増加していることから、公園整備による一定の成果は出ていると考えている。今後も引き続き公園整備を進めるとともに、次計画では防災拠点となる中央市民センターの改修や、関連事業としての道路整備も進めていく。

指標4 指標の数値はほぼ横ばいで推移しているが、中央区の緑被率がH29、R4で20.3%であったことから、緑を保全できたものの増加していないことが一因であると考えられる。一方で、「福岡市中央区で身近な公園の緑が豊かであると感じている市民の割合」はH29年度以降、平均して80.3%と多くの市民から評価されており、整備による一定の成果は出ていると考えている。今後も緑の保全に努めながら、次期計画でも引き続き緑地の整備を進めるとともに、都心の森1万本プロジェクトによる民有地緑化にも取り組んでいく。

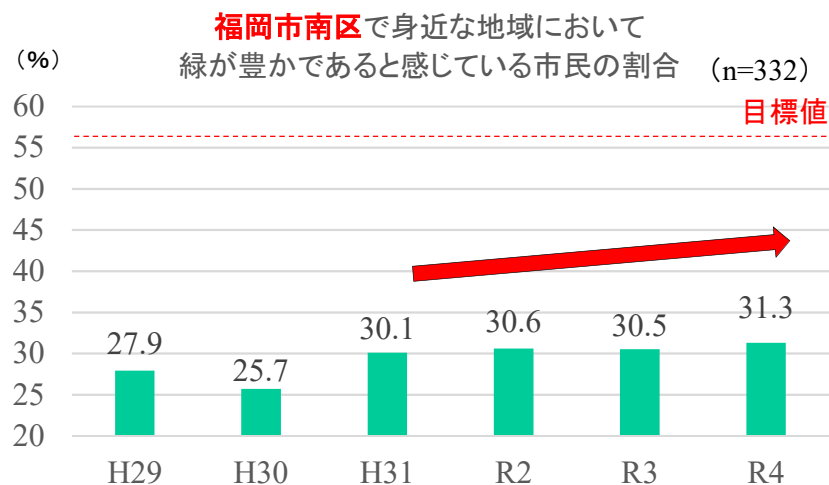
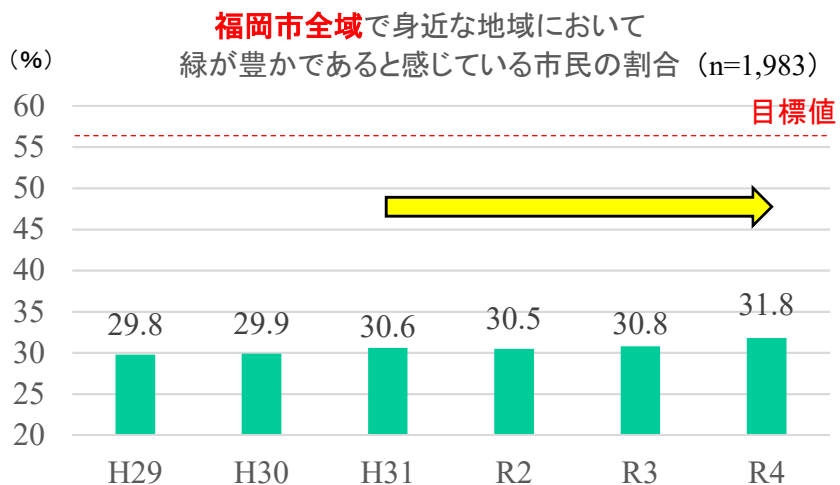
4. 成果指標の達成状況

4-7. 参考

指標3



指標4



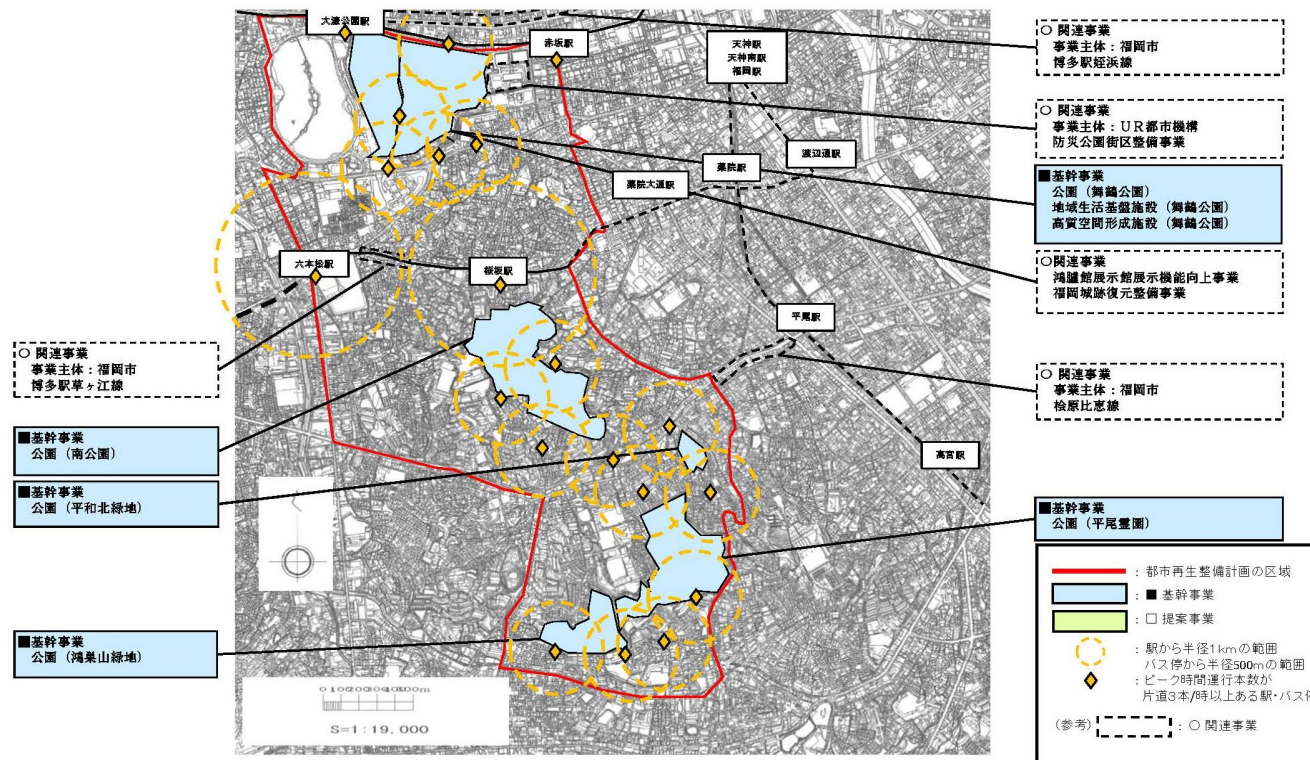
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	舞鶴公園・南公園周辺地区都市再生整備計画		
計画期間	平成31年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和5年度	全体事業費	3,942百万円	国費率	0.40

		要素事業名					
1) 事業の実施状況	対象事業	A.基幹事業	○舞鶴公園・南公園周辺地区都市再生整備計画事業				
		B.関連社会資本整備事業	—				
		C.効果促進事業	—				
		その他関連する事業	—				
	進捗状況		要素事業名	事業内容(延長・面積等)		事業進捗(令和5年度末時点)	次期計画
		A.基幹事業	○舞鶴公園・南公園周辺地区都市再生整備計画事業	都市公園の用地取得、整備等		一部完了	継続予定
			—	—		—	—
	B.関連社会資本整備事業	—	—		—	—	
	C.効果促進事業	—	—		—	—	
	その他関連する事業	—	—		—	—	
2) 事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値	目標値	実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因	
		舞鶴公園利用者の割合	59.0%	60.8%	58.1%	新型コロナウイルス感染症の流行による、外出制限やイベントの中止などが原因で「過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合」は減少していると考えられるが、感染症流行以前のH30～H31年度では目標値を達成していることから、今後の行動制限の緩和により、さらなる増加が見込まれる。	
		動植物園の利用者数	80.4万人/年	97.1万人/年	77.1万人/年	新型コロナウイルス感染症の流行による、外出制限やイベントの中止などが原因で「地区内の施設(動植物園)利用者数」は減少していると考えられるが、今後の行動制限の緩和により、増加していくことが見込まれる。	
		安全・安心のための社会環境整備ができていると感じる市民割合	39.2%	40.1%	31.7%	「福岡市中央区で安全・安心のための社会環境整備ができていると感じる市民の割合」について、社会環境整備とは道路や公共施設なども含まれるため、公園整備は進めているものの、約30～40%で推移している(H28年度とR3年度では目標値を達成)。一方で、「福岡市中央区で地域の公園の道具や設備の安全性に不安はないと感じている市民の割合」はH31年度以降、着実に増加しており、公園整備による一定の成果が出ているものと考えられる。	
		緑が豊かであると感じている市民の割合	35.0%	58.3%	32.1%	「福岡市中央区で身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合」について、身近な地域の緑とは街路樹や民有地なども含まれるため、公園整備は進めているものの、ほぼ横ばいで推移していると考えられる。一方で、「福岡市中央区で身近な公園の緑が豊かであると感じている市民の割合」はH29年度以降、平均して80.3%の市民から評価されており、公園整備による一定の成果が出ているものと考えられる。	
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・基幹事業における公園整備(舞鶴公園、南公園、平尾霊園、平和北緑地、鴻巣山緑地)により、市民の休息、散歩、運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。 ・舞鶴公園における地域生活基盤施設および高質空間形成施設整備により、年間を通じた集客力や回遊性の向上。					
	効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)	—					
3) その他	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 舞鶴公園地区のさらなる良好なまちづくりを図る為、引き続き、都市機能の充実化を図る拠点施設の整備や都市景観の向上などの整備を図る。 公園を利用する地域住民のニーズに合わせた事業やイベント開催により、地域コミュニティの交流やにぎわいを創出する。 地域の防災機能の向上を図る為、地域防災計画にて避難場所と位置づけられた公園や市民センター、浸水対策などの整備を行い、地域の安全性向上を図る。 対象地域で未整備や計画されている公園整備を引き続き行い、居住者にとって憩いや安心を与えられる空間を創出していく。 					

「身近な生活に潤いをもたらす緑づくり」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (R4年度)
大目標: 緑と歴史・文化が調和した福岡市型のコンパクトな都市づくり 目標1: 市民の憩いと集客の拠点づくり 目標2: 安全安心して暮らせるまちづくりの推進 目標3: 身近な生活に潤いをもたらすまちづくりの推進	舞鶴公園利用者の割合	59.4%	60.8%	58.1%
	動植物園の利用者数	80.4万人/年	97.1万人/年	77.1万人/年
	安全・安心のための社会環境整備ができていると感じる市民割合	39.2%	40.1%	31.7%
	緑が豊かであると感じている市民の割合	35.0%	58.3%	39.6%



主な事業効果

- ・舞鶴公園の園路や照明灯整備により、園内の散策に活用できる高質な空間形成が図られた。
- ・平尾公園などの公園整備により、オープンスペースの確保や緑と触れ合える快適性の高い空間形成が図られた。
- ・公園整備や道路整備等により、地域の防災機能の強化が図られるなど、安全安心な環境形成が図られた。